

医学物理士レジデントプログラム

近年、放射線治療の質の向上と安全管理体制の観点から、医学物理士という職種が注目されています。医学物理士の資格を有するには、筆記試験に合格するだけでなく、実地研修（on the job training: OJT）が要件となっています。米国ではすでに「医学物理士レジデント制度」が存在しますが、日本ではその整備が遅れており、筆記試験に合格しながらもOJTを受けられないために、資格を持っていない優秀な人材が数多く存在しております。本プログラムは、大学病院と大学院が連携し、技術補佐員（非常勤職員）として雇用して、OJTを主体とした教育を自施設のみで実施する国内唯一のプログラムです。筆記試験に合格しながらも業務経験を持たないために医学物理士認定を受けられない方のサポートを目標としております。本プログラムに興味がある方の応募をお待ちしております。

1. 応募資格：医学物理士認定試験合格者
2. 採用人数：若干名（年齢不問）
3. 研修期間：平成24年4月1日から必要に応じて1年～3年
4. 研修目標：日本医学物理士認定機構が定める医学物理士認定に関わる要件を満たし、臨床で活躍する医学物理士に相当するレベルの知識・技術を習得すること。また、研究開発能力を身につけること。
5. 研修内容：
 - 臨床業務
 - ①X線・電子線治療補助（10ヶ月）、②密封小線源治療補助（3ヶ月）、③陽子線治療補助（10ヶ月）、④温熱療法（1ヶ月）における医学物理業務を習得する。
 - 具体的な業務は、治療補助（照射録チェック含む）、治療計画の概要（治療準備含む）、各種治療装置のQA、治療計画のQA（MU計算含む）、CTシミュレータにおけるQA、位置照合装置のQA、各種放射線治療時における放射線防護である。
 - 研究
 - 医学物理に関わる研究を進め、研修終了までに研究論文として学会誌に報告する。
 - その他
 - 毎朝実施される「医師-医学物理士-看護師-診療放射線技師」合同カンファレンスに参加する。
 - 医学物理士の臨床業務に必要な講義および勉強会に参加する。講義に関してはeラーニングを積極的に活用する。

6. 研修スケジュール
 - 5.で示した内容の①～④につき、表のカリキュラム進行にしたがって研修を進める。
7. 身 分：技術補佐員（非常勤職員）
8. 報 酬：当院の非常勤職員の報酬に関する規則による
9. 勤務態様：祝日を除く月～金（週5日）、7時間/日
10. 応募書類 ※ 提出書類は返却致しません
 - (1) 履歴書：1通
 - (2) 医学物理士認定機構による医学物理士認定試験の合格証：1通
 - (3) 所属組織の長の推薦書：1通
 - (4) 研究および教育業績リスト（有する場合のみ）：1通
 - (5) 研修に取り組むにあたっての抱負：A4用紙1枚以内
11. 応募締切：平成24年2月29日（水）
12. 選考方法：応募書類による第一次選考を行い、第一次選考合格者に対して、第二次選考（小論文、面接）を実施し、選考します。
 - * 第二次選考の日程については、第一次合格者に対し、後日お知らせします

応募書類送付先及び問い合わせ先

〒305-8576

茨城県つくば市天久保2-1-1

筑波大学附属病院総合臨床教育センター

事務担当：病院総務部総務課（教育支援）

TEL：029-853-3516・3523・3520

FAX：029-853-3687

Eメール：kensyu@un.tsukuba.ac.jp

